プレイボーイ第10巻第5号昭和59年5月1日発行（毎月1回1日発行）昭和58年1月25日国鉄首都特別扱承認雑誌第6623号　昭和50年8月2日第3種郵便物認可

ENTERTAINMENT FOR MEN 日本版 特別号 470YEN MAY 1984

PLAYBOY

88年をめざす特別候補生たちの実像
日本人宇宙飛行士 第1号は誰だ

一匹狼は組織に勝てるか
江夏豊&江川卓

N.Y.NOW 老いゆく摩天楼
エンパイアステートビル

特別プレイメイト"STAR80"
M・ヘミングウェイの裸身

鮮烈ピクトリアル
大場久美子・24歳

ジョン・レノン死後3年レポート
黒い未亡人 オノヨーコの地獄

PBインタビュー
河野洋平

加納典明「淫祭」に迫る
印度仏殺行

5

PLAYBOY 5

1984 MAY

世界のエンタテインメント・マガジン！ 1984・5月号目次

88年をめざす特別候補生たちの条件と素顔

日本人宇宙飛行士第1号は誰だ ―― 76

N.Y.発　海運王・ケイ菅原が警告

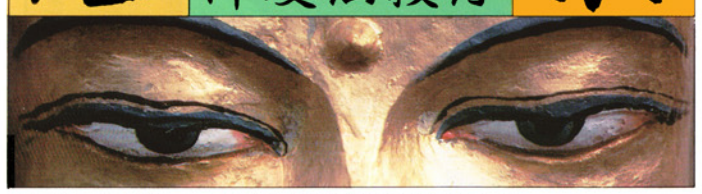
開戦前夜に近い緊迫事態を日本人は知らない

五島隆夫 ―― 96

PART・1

涅槃

加納典明 84 印度仏殺行



江夏と江川　一匹狼は組織に勝てるか

ローンウルフの哀歌 新宮正春 153

アメリカNOW！

老いゆく摩天楼 エンパイア・ステートビル

宮内勝典 ―― 68

鮮烈ピクトリアル

大場久美子・24歳 115

チェルネンコ政権発足記念

早わかりソ連クイズ 104

J.レノン死後3年レポート

黒い未亡人 オノ・ヨーコの地獄 202

特別プレイメイト"STAR80"

M.ヘミングウェイの裸身 ―― 138

絶好調シリーズ

カリフォルニア篇・カナダ篇

オーパ!オーパ!!

開高健 170

PLAYBOYインタビュー

河野洋平 47

今月のプレイメイト

リサ・ペドリアーナ 124

スペシャル・リサーチ

女がハードに計算する男の結婚偏差値 182

PLAYBOY WHEELS

近頃瞬速のアルピーヌ感覚 196

'84型ランジェリー・ピクトリアル

男なら誰もが知りたい〈女の下着〉のすべて

146

ニューマン登場

フロント・ランナーズ

野町和嘉／ジュマ・イカンガー／高崎正治／植山周一郎／古館伊知郎／ピート・ハミル 108

カバー・ストーリー

今月の表紙モデルは、キャシー・シャワーつまり"にわか雨のキャシー"ちゃん、カリフォルニア出身です。その名のとおりのカバー・フォトですが、春の雨は草木にとっては恵みの雨、この表紙も全世界の男たちにとって気持ちのいいレインフォールになれば、と思っております。
さて、本誌の中で雨のようにエロスを降り注ぐ美女が今月はふたり。ひとりは"STAR80"のマリエル・ヘミングウェイ、あの"リップスティック"の少女が見事にオトナしております。もうひとりはご存知、大場久美子、24歳記念のピクトリアルです。ともにうれしい、にわか雨であります。

PLAYBOY PEOPLE 11

PLAYBOY AFTER HOURS

INTRO ―― 15
弱い者いじめ"魔女狩り"のお下劣

MUSIC ―― 17
この上なくP.オースチン――萬田久子

VIDEO ―― 21
ヒカク的上品なホラーもの2本

MOVIE ―― 23
サスペンス映画の"香り"

SPORTS ―― 29
'84サントリーカップの本命は!?

SCIENCE ―― 31
もうほとんど電波スモッグ時代

BOOKS ―― 33
技術解説書なんて読むな

DOCUMENT ―― 37
「業」や「性」から「欲」へ変った女性犯罪

Approach to the World

アメリカの失敗がレバノン分割を生んでしまった 落合信彦 162

パーティ・ジョーク ―― 136

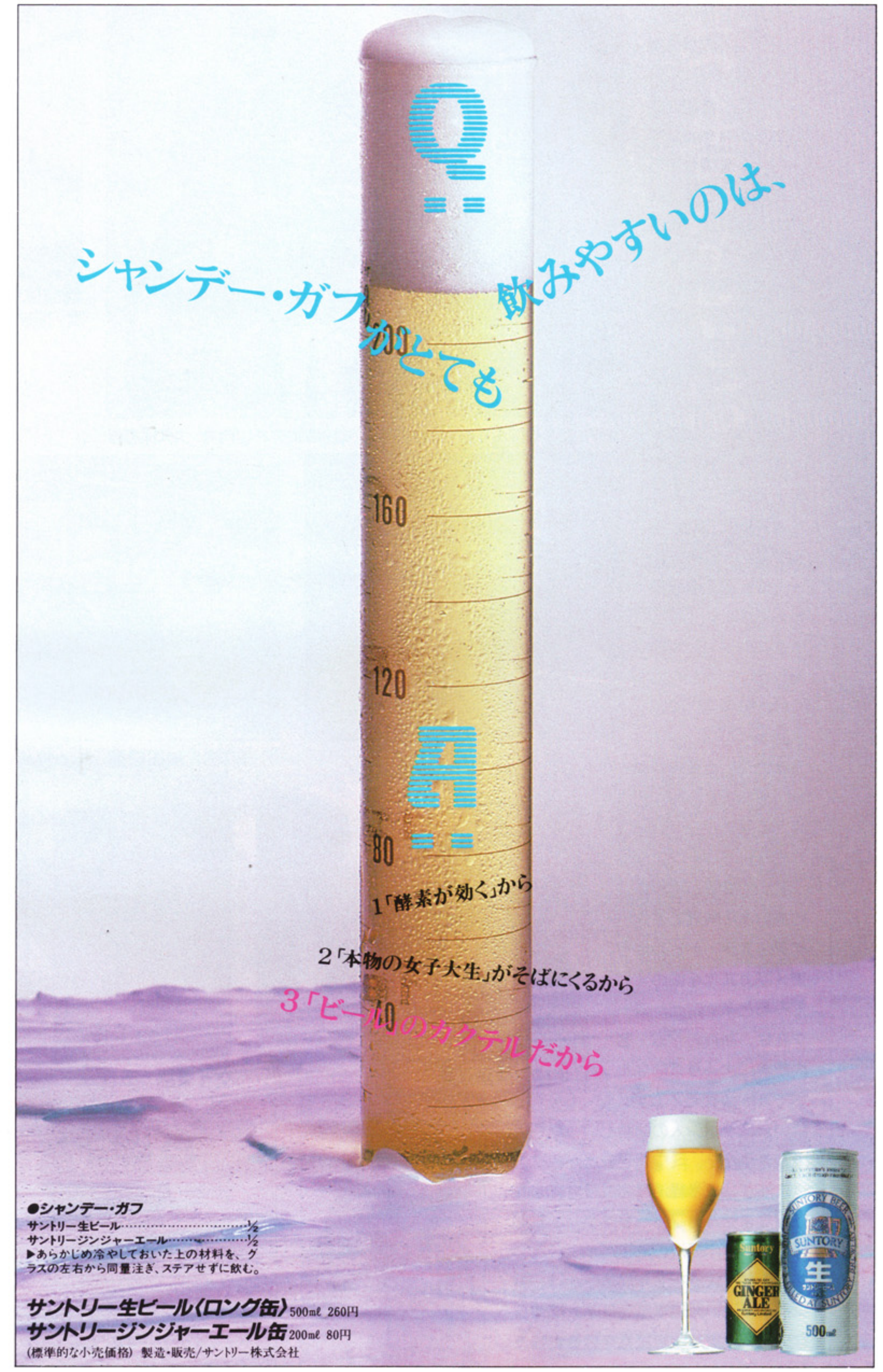
新ギャグ・セッション ―― 164
芳井一味／マディ・上原／桜沢エリカ／西秋ぐりん／なんきん

PLAYBOY COOKING ―― 246

男の娯楽情報追伸マガジン

プレイボーイ・システム
4強のテニス・ラケットプレゼント／サウンド新製品・春の音を聴け etc.

230



アート・ディレクター・田名網敬一

◉本誌への投稿・応募作品は、編集の都合上添削することがあります。原稿は返却いたしませんので、必要な場合は、コピーをおとりください。

◉本誌掲載の写真、イラストレーション、記事の無断転載複写を禁ず。

EDITOR AND PUBLISHER OF U.S. EDITION **HUGH M. HEFNER**

CONTENTS © AS TO MATERIALS PUBLISHED IN AUGUST 1979, JANUARY 1984, MARCH 1984 AND APRIL 1984 ISSUE OF PLAYBOY, U.S. EDITION. PLAYBOY. PLAYMATE, RABBIT HEAD SYMBOL AND FEMLIN DESIGN ARE MARKS OF PLAYBOY REG. U.S. PATENT OFFICE. PLAYBOY IS MARK OF SHUEISHA REG. JAPAN PATENT OFFICE.

Canon

美しい肌ほど、FDレンズが好き。

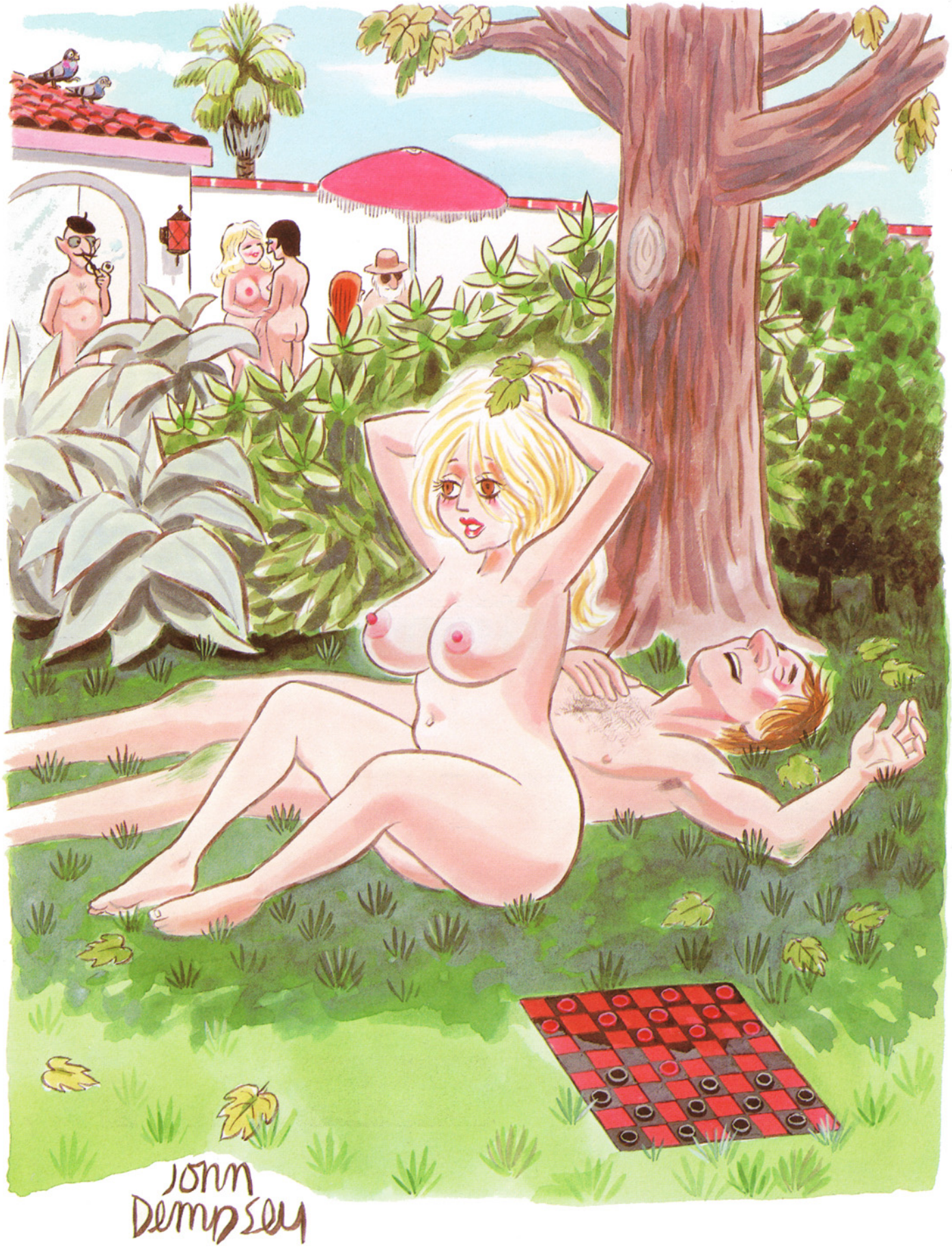
PLAY MATE:RUTH GUERRI・PHOTO BY POMPEO POSAR©PLAYBOY MAGAZINE

プレイボーイ誌・写真部長ゲーリー・コールは言う。『素敵なプレイメイトの写真を撮るために必要なものは、まず第一に、美しいモデルと熟練した写真家です。しかし最後の決め手となるのはシャープネスとカラーバランス。FDレンズは、とてもすぐれています。それにプロ仲間で良く言うことは肌の色についてです。FDレンズは、思わず触れたくなるような、美しい肌にしてくれます。これはね、プレイメイトのルースだって知っている。』

「プロの眼」FDレンズ。抜群のシャープネスと色再現性、統一されたカラーバランスからFDレンズは「プロの眼」と呼ばれ世界のプロ・報道写真家に圧倒的な支持を得ています。すぐれた写真を撮るためには、すぐれたレンズが必要になる。プロの方法です。すべては、レンズから。

Canon FD LENSES

●カタログ請求は、〒108 東京都港区三田3-11-28
キヤノン販売株式会社MPB-FDレンズ係へ、ハガキでどうぞ。
●交換レンズを始め、ストロボなどのシステムアクセサリーは、
キヤノン一眼レフの持てる機能を十分に発揮させ、
高性能・高精度を保証するキヤノン製品をご指名ください。



おかしいと思ったわ、3回戦だなんて。ゲームのことだったのね

「私は何をし続けて、これからどう進もうとしているのか？」　自信をもって自らのアイデンティティを語りきれる人がいるだろうか。大場久美子、24歳。人生の大きな区切りの時を迎えて、彼女は自分を確かめる旅に出た――。
日常から解放されて大地と出会い、肩の力を抜いて大きく深呼吸する時、都会での喧噪・憂うつもしがらみも消え失せる。素肌のままで、素顔のままで「これが私だ……」と呟いてみる。女優として〝演ずる〟ことを選んだ自分に、いま静かに頷く時。大場久美子、女の記念碑。

大場久美子 24歳 春

撮影・半田也寸志

スタイリング・大久保篤志
ヘア＆メイク・杉山佳男（CLIP）

身を飾ることのない、本当の私がここにいる。これからは、もっと楽に、もっと気ままに紙飛行機のように飛んで行けそう……。

KUMIKO IN ARIZONA

日本から遠く離れ、アメリカ・アリゾナ州でも撮影は行なわれた。南はさんさんと太陽がふり注ぐ、砂漠とサボテンの街ツーソンから、北は寒風吹きすさぶ残雪のモニュメントバレーまで……。全走行3,000kmにまで及んだ。アリゾナでの撮影のエッセンスは写真集で公開されます

デビューして8年。「最近、変わったね」——よくそういわれるようになりました。

別に私が変わったわけじゃない。ただ、自分の感じるままに、自然にふるまったら、いまの私になっただけ。「大人になったね」とか「落ち着いた」とか言われて喜んだ頃もあったけど、やっぱり何となく、無理をしていたのでしょう。最近になってやっと、「自然に、素直に生きてるね」って言われることが、私への一番の誉め言葉なんだって思えるようになりました。

『一億人の妹』なんて言われたのは、もう過去のこと。女優の道を選んで4年、誰のためでもなく、自分なりの表現をすることが、やっとできるようになりました。自分の中の偶像への訣別——人は大げさにそんなふうにいってくれるけど、もっと肩の力を抜いて、『普通の私』と、いま出会うことができました。

気がついてみると24歳——。少女というには遅すぎて、熟女というには早すぎる。

人生の大きな区切りの時。不安がないわけではありません。でも、だからこそ、この時が何か大きな可能性を秘めた、充実した大人の時に思えるのです。

自分を確かめるひとつの旅が終わり、本当の自分と出会った私が、ここにいます。

——ひとつの旅の終わりは次の旅の始まり。私の、内面への旅は、いまやっと始まります。春。大場久美子24歳。いま、新たな旅立ちの春です。

●待望の鮮烈ピクトリアル『大場久美子写真集』（撮影・半田也寸志）が4月10日、小社より全国に発売されます。定価千八百円。乞う御期待。（予約申し込みはP217を御覧下さい）

ひとつの旅が終わり、目を閉じると心地良い疲れで私は眠くなる。次の旅も、いつまでも、自由であり続けたい。

PLAYMATE
OF THIS MONTH
LESA
PEDRIANA

誘惑即興曲（インプロビゼーション）

オアフ島、ラナイの海岸で、挑発的な視線を投げる女を見た。スキューバダイビング・Dチームのリーダー、リサ・アン・ペドリアーナ。トルコ石色の美しい海。風。謎。冒険。ストーリーの鍵を握るのは、今回も〝女〟だった。

リサ・ペドリアーナ

PHOTOGRAPHY BY STEVE WAYDA

甘い謎めいた匂いのたちこめる夜を突っ走る。助手席のリサが、声をころしてコースを指示する。右。左。道は町を離れ、磯を過ぎ、やがて車は、人気のない浜へと至る。

と。

(即興曲はいつも「と」から始まる)

やおら。

(トーンはいつも「やおら」で変わる)

リサは助手席から飛び降り、服をすべて脱ぎ捨てて言う。

「ねえ、もうちょっと先まで行ってみない?」

——リサは自分がセクシーだと言われるたびに考える。自分がもしセクシーに見えるとしたら、それは自分が気ままにふるまうからだ、と。そして、相手に説明するときには、こうつけ加えるのだ。

「気に入った男性だったら、相手にその気がなくても、ね」

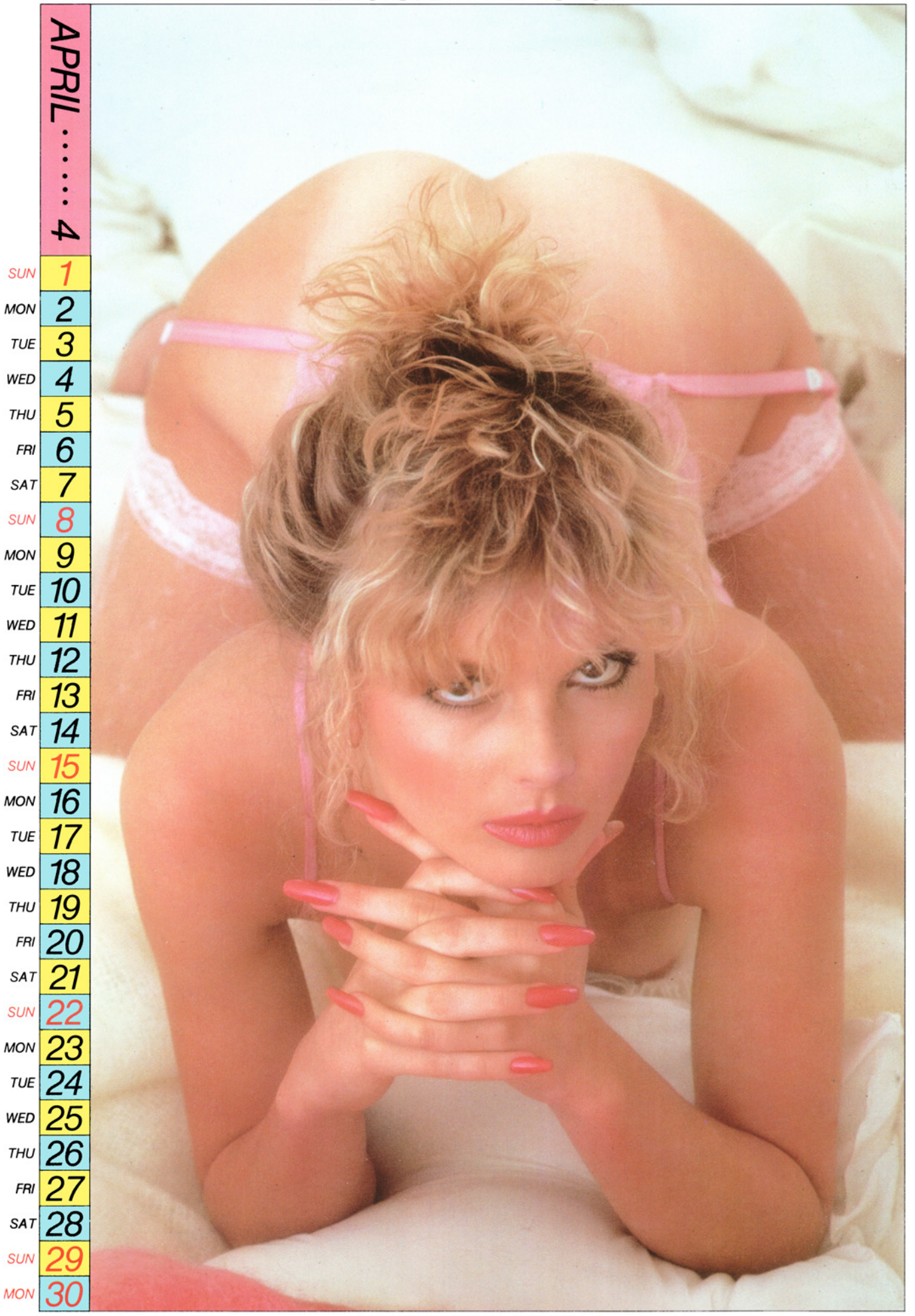
リサの〝気ままさ〟に抵抗できる男がいるとは思えない。

リサはミルウォーキー生まれ。育ったのはカリフォルニア州アナハイム市の、ヤシに囲まれた家。美容学校の卒業証書とメイキャップ・アーティストとしてのキャリアを証明するファイルを持って、ハワイへやって来た。

「ホントはPLAYBOY誌のメイキャップ・アーティストになれればと思っていたの。プレイメイトというのは、ちょっとすごいって言うか……高校生の時には、ああいうページ、まともに見られなかったわ」

彼女はスマートな女だ。

「私は自分の気に入った服を着るし、場所によっても変えるわ。でも男性のために着飾ったりはしない。だって、男の人のためだからって考えたら、何も着ない方がいいって結論になるの、あたりまえでしょ?」



LESA PEDRIANA

MISS MAY
今月のプレイメイト
LESA PEDRIANA
Lesa Ann Pedriana

LESA PEDRIANA

リサ・ペドリアーナ。1962年11月24日。ミルウォーキー生まれ。バスト——85センチ。ウエスト——55センチ。ヒップ——80センチ。身長——162センチ。体重——48キロ。夢——仕事で成功して安定した幸せを得ること。好きなもの——男性。ロマンス。愛。動物。想像力豊かな人。独創的な服。嫌いなもの——人込み。騒音。自信のない人。好きな本——『ライト・スタッフ』『デッド・ゾーン』好きなアーチスト——マッドネス。ベルリン。デュラン・デュラン。

"I like men who, first of all, are bigger than I am. It makes me feel more feminine. They should also be athletic. Not necessarily health nuts, but healthy. You can't have sex with some guy who can't huff and puff along with you."

ドロシーに再会

スペシャル・ピクトリアル『スター80』マリエル ヘミングウェイ

銃弾に散ったプレイメイトがスクリーンによみがえった

1980年8月14日、ロサンゼルスでひとりの新人女優がショット・ガンで夫に射殺されるという事件が起った。その女優の名前はドロシー・ストラットン。ご記憶の読者もおられることと思うが、1979年9月号の日本版でセンター・フォールドを飾り、1980年のプレイメイト・オブ・ザ・イヤーにも輝いたあのドロシーがその人だった。当時、アメリカではそのセンセーショナルな事件が話題を呼び、"ビレッジ・ボイス"誌に『あるプレイメイトの死』と題する記事が発表されたりもした。この記事によってライター、テレサ・カーペンターは81年度のピュリッツアー賞を受賞している。

そしてこの度「レニー・ブルース」「キャバレー」などの作品で知られる名監督ボブ・フォッシーがマリエル・ヘミングウェイを起用して、ドロシー・ストラットンの生涯を『スター80』として完成させた。

1961年生まれのマリエルは、1960年生まれ、1歳違いのドロシーに、自分と同じ何かを見出したのだろうか、憑かれたようにこのドロシー役を手に入れようとした。そのためには豊胸手術までした。身長177センチのマリエルはそのためB91・W61・H91という堂どうたるグラマーになった。ちなみにドロシーの生前のサイズはB91・W60・H91であった。

ストーリーはこうだ。カナダのバンクーバーにあるハンバーガー・ショップのカウンターで働いていた18歳のドロシーがプレイメイトに選ばれ、一夜にしてシンデレラとなりスターの道を歩み始める。社会的にも人間的にも成長を始めた女と、ヒモ同然の夫。その上ドロシーに新しい恋人が出現して、夫のスナイダーは嫉妬に狂いガンを手にする。彼女に引きがねを引いたあと、自分にも銃口を向ける――これが事件の顛末だった。

ドロシーをモデルにした映画は、これ以外にも彼女と私的な付き合いのあったピーター・ボグダノビッチが『一角獣の殺人』というタイトルで現在製作中である。(『スター80』W・ブラザース、4月中旬公開)

79年9月号を飾ったドロシーのセンターフォールド

生前、ドロシーはPLAYBOYのインタビューに答えて、次のように語っている。「目標は女優として成功することよ。旅行もたくさんしてみたい。夢は月へ行くこと。人生、愛、詩そして小さな動物が好きなの。好きな音楽はバリー・マニロウ、ジャニス・イアンなんかね」と――

PHOTOGRAPHY BY MARIO CASILLI AND STEPHEN VAUGHAN

映画『スター80』の公開に先立ち、PLAYBOYは、主演のマリエル・ヘミングウェイ（文豪ヘミングウェイの孫娘）を特撮した。話題のピクトリアルをここにお届けする

生前のドロシーと同じサイズを獲得するため、豊胸手術までしたマリエル。右ページのドロシーと同じポーズなのにご注目

フォッシー監督は、映画の中にふんだんに出てくる"プレイメイト"マリエルの写真パネルのためにカメラマン、マリオ・カッシーリを起用した。彼はこれまで56人のプレイメイトを手がけたカメラマンで、スクリーンの中にPLAYBOY誌の雰囲気を出すのに成功している。今回のこの特撮ピクトリアルでもカッシーリはマリエルに、かつてドロシーにとらせたのと同じポーズをとらせた。(写真右大と左上)

(写真左下・映画スチール) 18歳のドロシーを説得して、当時のボーイフレンド、のちの夫ポール・スナイダーはポラロイドでヌードを撮ろうとする。はじめは恥ずかしさに身を縮めるが、なれるに従って大胆になっていく。ポールはそれらをPB編集部に送ったのだ。